

利根川への新橋架橋を積極的に進めよ



渡辺 俊彦



町長

関係機関と連携し、早期実現に向け強く県に要望する



与六分前橋線

質問 「与六分前橋線を北に延伸し新橋を架け利便性を高め、あわせて都市計画を見直す」と政策提言しているけれども、平成28年度予算に予定地の調査費を計上し積極的に進める必要があると思っております。

答弁 町長 県央南部地域連絡会（町長が会長）で平成10年から県知事を初め、関係者に要望を重ねてきており、今後も県に強く要望していく。調査費は必

質問 要に応じて予算計上する。都市計画の見直しは、都市計画マスタープランとの整合や技術基準等の条件とあわせながら、県と調整をしたい。

平成28年度町長施政方針を問う

質問 「農業振興地域整備計画の策定と、意欲ある農業者や法人等を引き続き支援する」とは、どのようなことを実施するのか。

答弁 町長 計画策定により必要な農地の確保と有効活用の方角性を定める。また、経営所得安定対策の加入推進や、国・県の事業などを積極的に活用するとともに、各種研修会等を開催し支援する。

質問 観光による地域振興として、地域特有の「麦秋の郷」を活用した観光事業を提案する。

答弁 町長 「麦秋」の風景は麦作地帯ではないところ

で生活している方々には、印象に残るすばらしい風景と認識しており、町内外に情報発信していくとともに、玉村町の「売り」として観光事業に取り組みたい。

人口減少対策とシニアタウンの誘致について問う

質問 人口減少対策の一環としてシニアタウンの誘致を掲げているが、どのように進めるのか。また規模はどの程度なのか。

答弁 町長 日本版CRCR構想のことで、規模や年齢層、場所等に関する基礎調査を行うとともに、医療介護機関関係者や大学等の有識者ヒアリングを実施し、本町にふさわしい構想を作成する。

こんな質問もしています

・小中学校の2学期制から3学期制への移行について

無人ヘリによる農薬空中散布の中止を望む



備前島久仁子



町長

健康被害や環境汚染の影響を考え、今年から中止する

質問 子どものアレルギーやアトピーが増えている。健康被害と環境汚染の原因となることから、無人ヘリコプターによる農薬の空中散布は中止し、苗床での農薬散布などに補助金を出してはどうか。

答弁 町長 空中散布は中止する。今後は、生産者への指導や支援をほかの方法で検討する。

町長の掲げた公約について

質問 小学生の給食費を半額にする公約にあるが、なぜ小学生だけなのか。半額補助すると、年間約4000万円は町から払うことになるが。

答弁 町長 町の人口が減少しているため、子育て世代を町に呼び込む手段の一つとして小学生の給食費半額補助を進めたい。町の財政状況が厳しいため、すぐに中学生まではいかないが、順次対応していきたい。



平成28年度から中止される無人ヘリによる農薬の空中散布

質問 東京からシニアを呼び、シニアタウン構想を進めるとのことだが、町民の高齢化も進んでいく中で、その対策だけでも大変であると考えが。

答弁 町長 東京圏の元氣な中高年層が町に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療や介護

を受けることができる地域をつくりたい。「生涯活躍のまち」を目指し、医療介護機関等の有識者と意見交換し、構想をつくっていく。

玉村町と前橋市を結ぶ新橋推進は積極的に

質問 利根川への新橋建設は、既に17年にわたって県へ要望を出している。玉村町では建設を熱望する声が多いが、前橋市ではまだ必要性が認識されていない。橋の建設は、一方だけの問題ではない。前橋市とよく協議し、必要性を訴え取り組んでほしい。

答弁 町長 貴重な意見を聞いた。前橋市や前橋市議会へ働きかけていく。